

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 8年 1月22日

協議会名：粟島浦村地域公共交通協議会

評価対象事業名：離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
粟島汽船株式会社	<p>粟島と本土(岩船)を結ぶ唯一の交通手段で、通院や買い物などで利用する島民のほか、公共工事関係者や観光客が主となっており、利用者には欠かすことができない役割を担っている。</p>	<p>・船員の確保状況についてはR7.6月に船長職1名が退職。尚、R8年度分になるがR7年10月船長職が退職。R7.11月に甲板員1名が入社。R8.1現在船長職2名を含めた船員数は13名となっている。</p> <p>・島内イベントは5月島開き、6月にクリーンアップ作戦(海岸清掃)などが開催。令和7年度は、県支援事業を活用し、新潟交通バスを利用した日帰りバスツアーを行った。10月及び6月～7月中旬までの土日、7月19日～8月17日まで一部曜日を除いた全日、岩船始発便を行い年間旅客輸送人員は33,506.5人(前年比+1,745.0人)</p> <p>・経費は高速船売船につきドック費用削減、全体では約4億9,530万円(前年比約▲2,651万円)</p>	A	<p>R7年度の目標に対する実績</p> <p><b>【旅客輸送人員】</b> 目標(R7計画) 28,088.3人 実績(R7実績) 33,506.5人 (達成率119.3%)</p> <p><b>【欠損額増加の抑制】</b> 目標(R7計画) ▲321,982,259円 実績(R7実績) ▲304,265,500円</p> <p>A</p>	<p>・今後も安定的な運航を維持するため、船員の確保・育成に努める。現在は新潟・山形県内海洋高校やインディードに求人募集を出している。今後新人の海技士資格取得、旅客船協会主催の安全教育訓練等を適宜行う。</p> <p>・利用者を増やすため日帰り客誘致の為に運航ダイヤ等の作成に取り組む。</p> <p>・経費削減については、定期船ドックの適切な選定等により、欠損額の抑制に努める。</p> <p>・将来的には手荷物・小荷物・貨物運賃についての運賃改定、一般客の車両受入についても検討を進めていきたい。</p>